



【お知らせ】

令和4年4月28日
統合幕僚監部

統合幕僚長によるライシナ・ダイアログ 2022 への参加結果について

統合幕僚長山崎幸二陸将は、令和4年4月25日（月）から27日（水）の間、インド外務省及びインドのシンクタンクであるORF（Observer Research Foundation）が開催する多国間フォーラム「ライシナ・ダイアログ2022」に参加しました。

フォーラムでは、インド太平洋地域の安全保障環境について様々な議論が行われる中で、「21世紀におけるグローバルリスクの展望の再評価」をテーマとしたパネル・ディスカッションにおいて、山崎統合幕僚長は、アクイリーノ米インド太平洋軍司令官、キャンベル豪国防軍司令官、クマール印海軍参謀長、ランクール仏軍国際関係・政策副部長と共に、パネリストとして参加しました。

パネル・ディスカッションでは、山崎統幕長から、自衛隊が米、豪、印、仏といった同盟国・パートナー国と緊密に連携し、地域の平和と安定のために積極的に取り組むことの必要性や「自由で開かれたインド太平洋」というビジョンを実現するため、二国間・多国間協力を推進していくことの重要性について発言しました。

このほか、アクイリーノ米インド太平洋軍司令官、キャンベル豪国防軍司令官、クリシュナ印統合国防参謀本部参謀長、ラダキン英国防参謀長との二国間会談を実施しました。

会談では、地域情勢・安全保障環境に関して認識を共有するとともに、多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進する観点から意見交換を行いました。